



○つなかりを

笠松中学校生徒会を中心に、「あいさつ

運動」が十一月十五日

～十八日、各小学校の児童用玄関口と中学校の通学路七ヶ所

で行われた。この取り

組みに、各学校のPTA、子ども見守り

ボランティア、青少年育成、教育委員会、

道徳のまち笠松の関係者など多くの大

人も参加。心のつながりがいっそう深ま

るあいさつをめざした。

○小学生リーダーも

昇降口では、中学生

や関係者、さらに小学

校児童会のリーダーも

いっしょに取り組む。登校してくる子

たちに笑顔で「おはようございます」

「今日も頑張ろうね」などと声をかける。

児童会の子たちも、「大きな声で」「目を

見て」「元気なあいさつ」などと書いた

紙製のタスキを肩からかけ、声をかける。

「おはようございまーす」と笑顔で明

るい声が返ってくる。心と心が響き合い、

さわやかな雰囲気あたりにも広がる。

○顔の見えるかわり

通学路では、交通安全の旗を手に安

全を見守り、「おはよう」ございます」「気

をつけてね」と毎日、一声かけていただ

く方々がみえる。見守りボランティア、

交通安全協会、PTAの皆さんである。

運動期間中は、さらに中学生や関係者

も加わり雰囲気盛り上がる。そんな

中、「おは

よう」と

声をかけ、

手でタッ

チを求める中学生。その手にふれなが

ら、にっこり笑み「おはよう」とあい

さつを返す小学生。心のふれ合いが伝わ

ってくる一瞬である。



○のぼり「心をつなぐ・・・」

今回は、学校や通学路にオレンジ色の

のぼり「心をつなぐボランティア」が新

たに立ち並んだ。オレンジ色のジャン

パーやTシャツを身につけた人もこれ

までより多く、オレンジ色にあふれる取

り組みとなった。大人も子どもいっしょ

になって、心と心をつなぎ、オレンジ色

のように心温かく活力ある地域づくり

を進めていきたい。



のぼりをたて、通学路で
あいさつ運動に取り組む